

工業会活動

令和5年度航空機生産額は 前年度比2,782億円の増額

経済産業省が5月16日に公表した生産動態統計月報に基づき、令和5年度の航空機生産額（速報値）を集計した。その結果、総額は前年度比2,782億円（19.7%）増の1兆6,868億円となった。平成25年度から急増した生産額は、令和元年度に1兆8,689億円となった後、令和2～3年度は大きく下落したが、令和4年度に引き続き増勢傾向にあることが確認された。防需と民需の内訳は、防衛向けが前年度比290億円増の4,801億円、民間向けが2,491億円増の1兆2,067億円となっている。

品目別にみると、機体の生産額は、機体本体が479億円減の1,241億円、機体部品がボーイング向け機体の生産回復等により昨年度実績を1,360億円上回る5,745億円となったため、機体全体では前年度より881億円（14.4%）増の6,987億円となった。エンジンの生産額は、エンジン本体が微増の851億円、エンジン部品が海外向け部品の増等により昨年度実績を1,581億円上回る7,630億円となり、エンジン全体では前年度より1,583億円（22.9%）増の8,482億円となった。また、その他機器（付属品・通信機器等）の生産額は、防衛向けが270億円（34.5%）増の1,053億円、民間向けが48億円（16.1%）増の347億円となり、その他の機器全体では前年度より318億円（29.4%）増の1,400億円となった。

また、全体額の防需と民需の比率は28%対72%と民需の割合が前年度より更に増加した。平成24年度以降、民間航空機でボーイン

グ等からの受注増大に伴い民需比率が増大（民需比率のピークは平成27年度の74%）した後、令和2年度以降は新型コロナウイルスの影響等による航空機需要減少に伴い民需比率が大きく減少したが、航空機需要の回復により再び増大する結果となった。

上記のように令和5年度の我が国の航空機生産は、昨年度からの増勢傾向が継続している。今後については、防衛向けでは令和4年12月に公表された「防衛力整備計画」で示された固定翼機や回転翼機等の調達に伴う安定的生産や日英伊共同開発となる次期戦闘機開発事業の推進が期待される。

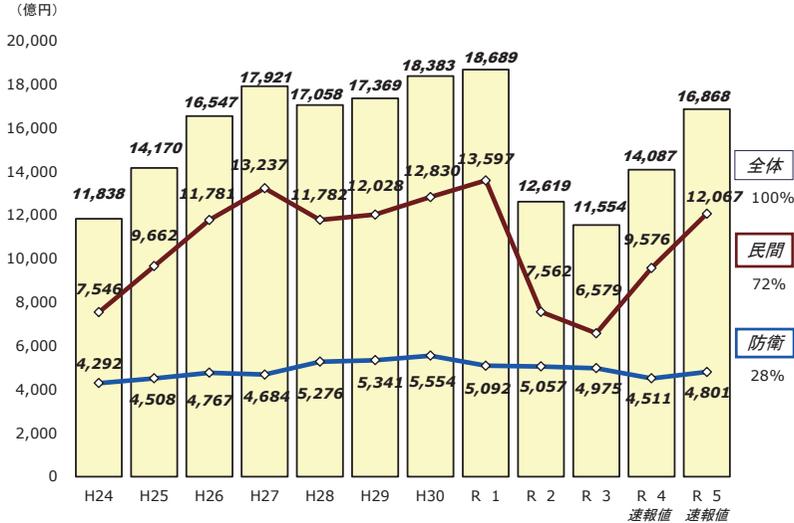
民間向けでは、国際航空運送協会（IATA）が、2024年の航空旅客が全世界で過去最多になると予測しており、航空機需要の更なる回復も予想され、「機体事業」ではボーイングの製造品質を巡る対応によるところが有る一方、「エンジン事業」では整備（MRO）需要

を中心に更なる拡大が見込まれる。

世界を取り巻く安全保障やサプライチェーン、環境対応などの様々な課題も踏まえる

と、令和6年度以降の航空機生産の動向は楽観できないが、堅調に推移するものと想定される。

航空機／国内生産額の推移



令和4年度と令和5年度の区分別比較

(億円)

区分	R04年度 速報値			R05年度 速報値			差 (R05 - R04)				
	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計	防衛向け	民間向け	計		
製造	機体	本体	×	×	906	×	×	401	×	×	△505
		部品	1,009	2,809	3,818	1,157	3,776	4,933	148	967	1,115
		小計	×	×	4,724	×	×	5,334	×	×	610
	エンジン	本体	×	×	105	×	×	178	×	×	73
		部品	429	5,569	5,997	425	7,164	7,590	△3	1,596	1,592
		小計	×	×	6,102	×	×	7,767	×	×	1,665
	その他機器	626	275	901	888	325	1,213	262	50	312	
計	2,991	8,736	11,727	2,988	11,326	14,314	△3	2,590	2,587		
修理	機体	本体	666	148	814	699	142	841	32	△6	26
		部品	460	107	567	687	126	812	226	19	245
		小計	1,127	255	1,382	1,385	267	1,653	259	12	271
	エンジン	本体	197	549	745	228	446	674	32	△103	△71
		部品	40	12	52	34	7	41	△5	△6	△11
		小計	236	561	797	262	452	715	26	△109	△82
	その他機器	157	24	181	165	21	187	8	△2	6	
計	1,520	840	2,359	1,813	741	2,554	293	△98	195		
全体	機体	本体	×	×	1,720	×	×	1,241	×	×	△479
		部品	1,470	2,916	4,386	1,843	3,902	5,745	374	986	1,360
		小計 (防民比率)	×	×	6,106 (-)	×	×	6,987 (-)	×	×	881
	エンジン	本体	×	×	850	×	×	851	×	×	2
		部品	468	5,581	6,049	460	7,171	7,630	△9	1,590	1,581
		小計 (防民比率)	×	×	6,899 (-)	×	×	8,482 (-)	×	×	1,583
	その他機器	783	299	1,082	1,053	347	1,400	270	48	318	
	計 (防民比率)	4,511 (32%)	9,576 (68%)	14,087 (100%)	4,801 (28%)	12,067 (72%)	16,868 (100%)	290	2,491	2,782	

(注) 四捨五入の関係から、合計は必ずしも一致しない

×: 経産省生産動態統計の令和2年1月以降の一部データは内訳数値が公表されていない

(出典: 経済産業省 生産動態統計)

[(一社) 日本航空宇宙工業会 業務部部長 川原 亘弘]